

ぽっかぽか



ぞうぐみ

先日は、お忙しい中保護者懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。子どもたちが普段遊んでいる「積み木」の楽しさ、学びを少しでも理解してもらえたら幸いです。子どもたちは「遊び」を通して日々学び、成長しています。できる事が増える喜び、チャレンジしようとする心をこれかも大切に育んでいきたいと思えます。今月は、運動会に遠足と行事が続きます。特に運動会は初めてなので、子ども達もドキドキすると思えますので、背中を優しく押していただけたらと思えます。



何で踊れるの！？年中・年長も踊れる「ぱんだちゃん体操」

年中・年長さんがお手本でぱんだちゃん体操を見せてくれました。素敵なモデルを見た後から、子ども達にスイッチが入り、音楽がなると自然と踊るようになりました。

なぜ、年中さんと年長さんが踊れるかというと、年少さんの時に踊っているからです。あおぞら保育園では、毎年同じ踊りを取り入れています。理由は、子ども達が見通しを持ち「安心」するからです。

年中さんになると「目指せ！宝島」。年長さんになると「ソーラン節」と演目が決まっている事で、来年はこれをやるんだ！と見通しと憧れを持つことができます。また、今回みたいに年中・年長になった時に、年少さんに踊りを見せてあげることができます。ぜひ、運動会で年中・年長の種目を「来年・再来年」を意識してご覧になって頂けると嬉しいです。子ども達は、お部屋や外で年中・年長の演目を真似して踊っている姿が見られています。来年・再来年が楽しみです。

ぱんだちゃん体操は、音を聴きながら、自分の体を思った通りに動かします。子ども達は楽しみながらやっていますが、手本の真似をして自分の身体が同じように動いているか確認をすることで、自分のボディイメージも高まっています。可愛いぱんだちゃん帽子を被って踊りますので、楽しみにしてください。

年少親子競技の紹介

平均台

バランスをとりながら、足を交互に運びます。ねじる運動はとても大切で、今後のいろいろな運動の基礎になります。

本番は高さのある平均台に靴で乗りますので、安全確保のため手をつないで下さい。

ラダー

両足とび+目標に合わせて調整。

両足とびはつま先への体重移動が大事。縄跳びに繋がる運動になります。

手押し車

「体を支える」力をつける。腕で支持をし体幹を強くしていきます。

足首で難しい場合は、すねか腿をもってあげると負荷が減ります。お家で練習してみてください。

遠足「多摩消防署・あおぞらルーム」10月25日（金）

今回の遠足の大きなねらいは、「地域にある施設を知る」「交通ルールを守ろうとする」です。

消防署がどこにあるのか、消防車はどんな機能があるのか。どんな人が働いているのかなどを確認します。交通ルールは、遠足に行くことを目標に、日々のお散歩を通して伝えていきます。車道と歩道の違い。横断歩道の渡り方。信号を見る意識など。また、散歩に行くことで足腰も強くしていきたいと思っています。